

優 秀 賞

排球の汗と涙と落ちる球

旭中三年 山内 元登

「選者のことば」

汗を流しながら懸命にボールを追う選手たちの姿が目には浮かびました。「汗」と「涙」という言葉によって、勝利を目指して全力で戦う気持ちが伝わってきます。最後の「落ちる球」には選手たちのさまざまな思いが込められているようで、その場の緊張感や悔しさまで感じられる一句でした。

冬北斗孤独な部屋の窓明かり

旭中三年 松原 朱生

「選者のことば」

冬の夜空に輝く北斗七星と、部屋の窓明かりが美しく響きあう一句です。静かな夜の情景の中で、ふと孤独を感じる作者の心の動きが伝わってきました。景色を描きながら心情も自然に表現できているところに魅力を感じました。

梅雨明にコートに響く打球音

旭中三年 児玉 華子

「選者のことば」

梅雨明けの明るさと開放感がよく伝わってくる一句です。「響く打球音」という表現から、久しぶりにコートで思いきり体を動かす楽しさが感じられました。晴れ渡った空の下で、練習に打ち込む生き生きとした様子が印象的に描かれています。